



オリンピック金メダリスト × 東京2020オリンピック聖火ランナー

スペシャル
座談会

バレーボール女子で、モントリオールオリンピック金メダリストの神白高子さんと、東京2020埼玉県聖火リレー実行委員会が選出した市内在住の東京2020オリンピック聖火ランナーの皆さんが、東京2020オリンピック聖火リレーのコンセプト「希望の道をつなごう」をテーマに座談会を行いました。

Qスポーツ界の現状について

新型コロナウイルス感染症の拡大で、大会等が中止になり、スポーツが思うようにできない中で、スポーツがどうあるべきで、人とどう関わっていくか、子どもたちの体力づくりをどうすべきかが課題であると感じています。また、人と接する機会が減っている中で、自分の心身の健康づくりをどうすべきかを考えていく必要があると感じています。

Q皆さんへ伝えたいこと

挑戦を続け、成長し続けてください。目標を自分で立てて、自分自身で実現してほしいです。そうすることが、自分の健康維持にもつながると思います。

Q聖火ランナーに応募した理由

妻も応援してくれ、聖火ランナーとして一生に一度の経験をしたいと思い、応募しました。

Q将来の目標は？

生涯現役で、若い人たちに昔からの畳の技術を伝承していくことが、これからの人生の大きな目標です。

Q聖火ランナーに応募した理由

私は、将来オリンピックで活躍することが夢です。今大会は選手としては出場できませんが、聖火ランナーとして少しでもオリンピックに関わりたいと思い応募しました。

Qスポーツをして自分が変化したところはありませんか？

小さい頃は、人の目を見て話したりあいさつができませんでしたでしたが、いろんなスポーツを通じて人と接する機会が多くなりました。今は、相手の目を見て話したりあいさつができるようになりました。

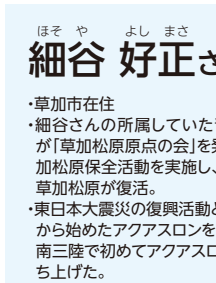
Q将来の目標は？

将来オリンピックで活躍するために、練習を頑張り、誰からも応援される選手になりたいです。



か じろ たか こ
神白 高子さん

- ・草加市在住
- ・元バレーボール日本代表選手。ミュンヘンオリンピック銀メダル、モントリオールオリンピックでは主将として金メダルを獲得。
- ・2017年に生涯スポーツ功労者賞(国)、2018年市政功労者表彰(草加市)を受賞。
- ・現在では、草加市バレーボール協会副会長として市内のバレーボールの普及活動を行う。



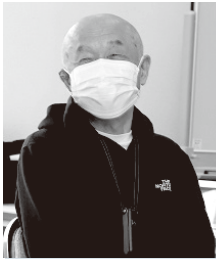
ほそ や よし まさ
細谷 好正さん

- ・草加市在住
- ・細谷さんの所属していた青年会議所が「草加松原原点の会」を発足させ、草加松原保全活動を実施し、枯れかけた草加松原が復活。
- ・東日本大震災の復興活動として、70歳から始めたアクスロンをきっかけに、南三陸で初めてアクスロン大会を立ち上げた。



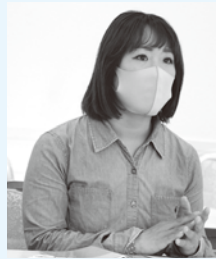
わ い だ まさ ゆき
和井田 正幸さん

- ・草加市出身・在住
- ・神明で江戸時代からある畳屋を営み、埼玉県畳組合会長として畳文化の発展にも寄与。



さ とう みち こ
佐藤 理子さん

- ・大学生のときにスノーボードにはまり、卒業後正社員勤務をしていたときに「スノーボードクロス」の競技に出会う。31歳でプロスノーボーダーに。
- ・オフシーズンは、スケートボードも行う。
- ・現在、暫定の日本プロランキングで1位。



おお たか ひめ な
大高 姫菜さん

- ・草加市出身・在住
- ・中学2年生
- ・埼玉県のジュニア育成事業「彩の国プラチナキッズ」に選出され、小学5年生からフェンシングを始める。日本代表として国際大会にも出場し、現在も活躍中。



Q聖火ランナーに応募した理由

思い入れのある草加松原を、復興への想いをのせて、トーチを持って走りたいと思い、応募しました。

Q聖火ランナーとして皆に伝えたいこと

聖火リレーのコースに草加松原が選ばれました。45年前に草加松原原点の会で松を植え、草加松原を復活できて良かったと心から思っています。ぜひこれからも、この松を枯らすことなく守ってほしいです。

Q聖火ランナーに応募した理由

スポーツの楽しさや喜び、人との繋がりをいろんな人に伝えたいと思い、応募しました。

Qスポーツの良さってどんなところ？

競技を通じて、一緒に練習したり、技ができたときに讃え合ったり、同じスポーツが好きという気持ちがあれば、老若男女問わず仲良くなれるところです。

Q聖火ランナーとして皆に伝えたいこと

何歳になっても夢をかなえられることを伝えたいし、スノーボードとスケートボードの楽しさをもっと多くの人に広めたいです。

座談会の詳しい内容は
市HPIに掲載しています。

